

～市立医療センターに求められる役割、 役割を果たすために必要な機能～

目次

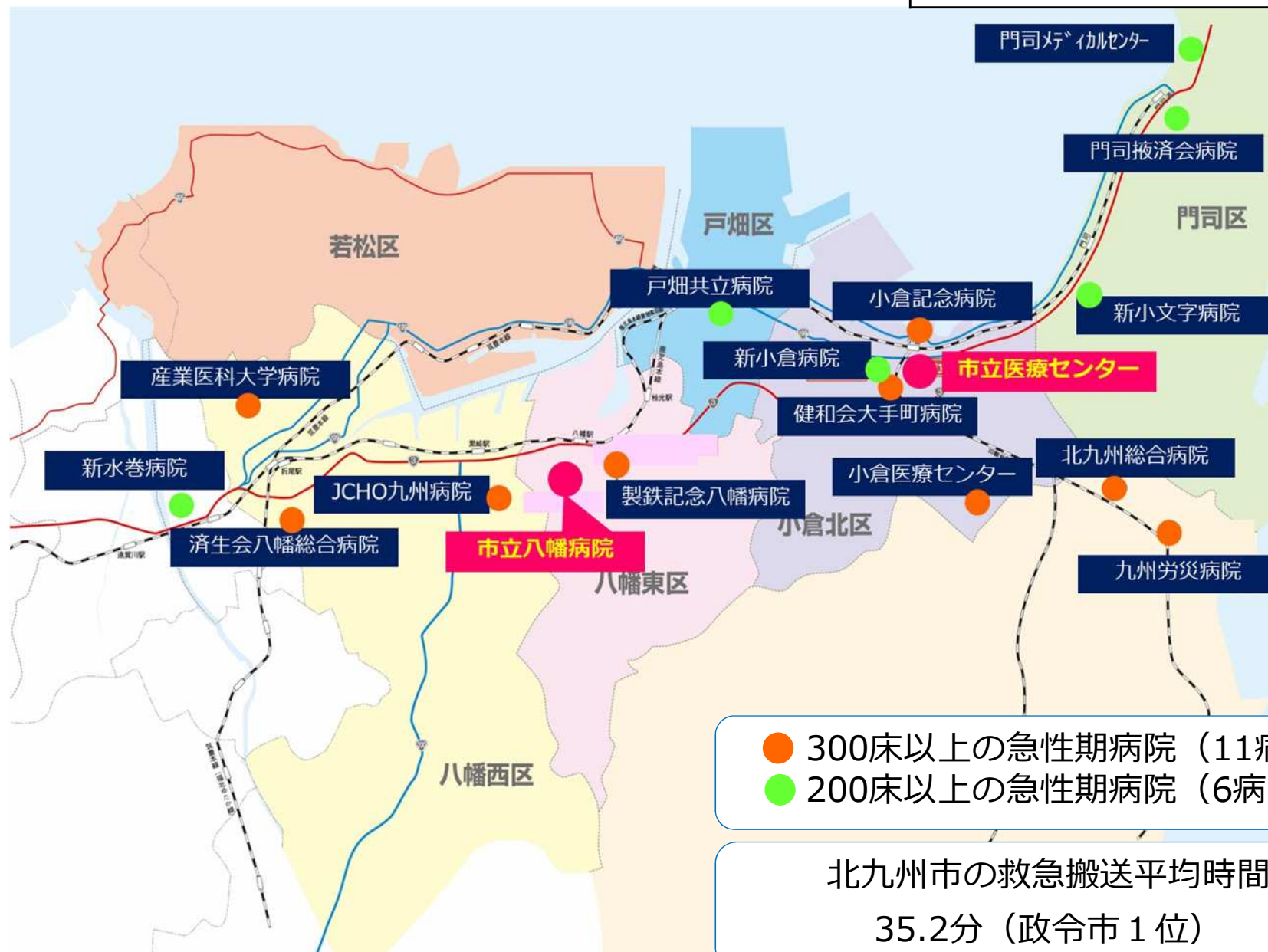
- 1 北九州二次医療圏の状況
- 2 市立医療センターの診療機能
- 3 政策医療の状況

1 北九州二次医療圏の状況

第1回 市立病院等の医療提供体制の
あり方に関する検討会

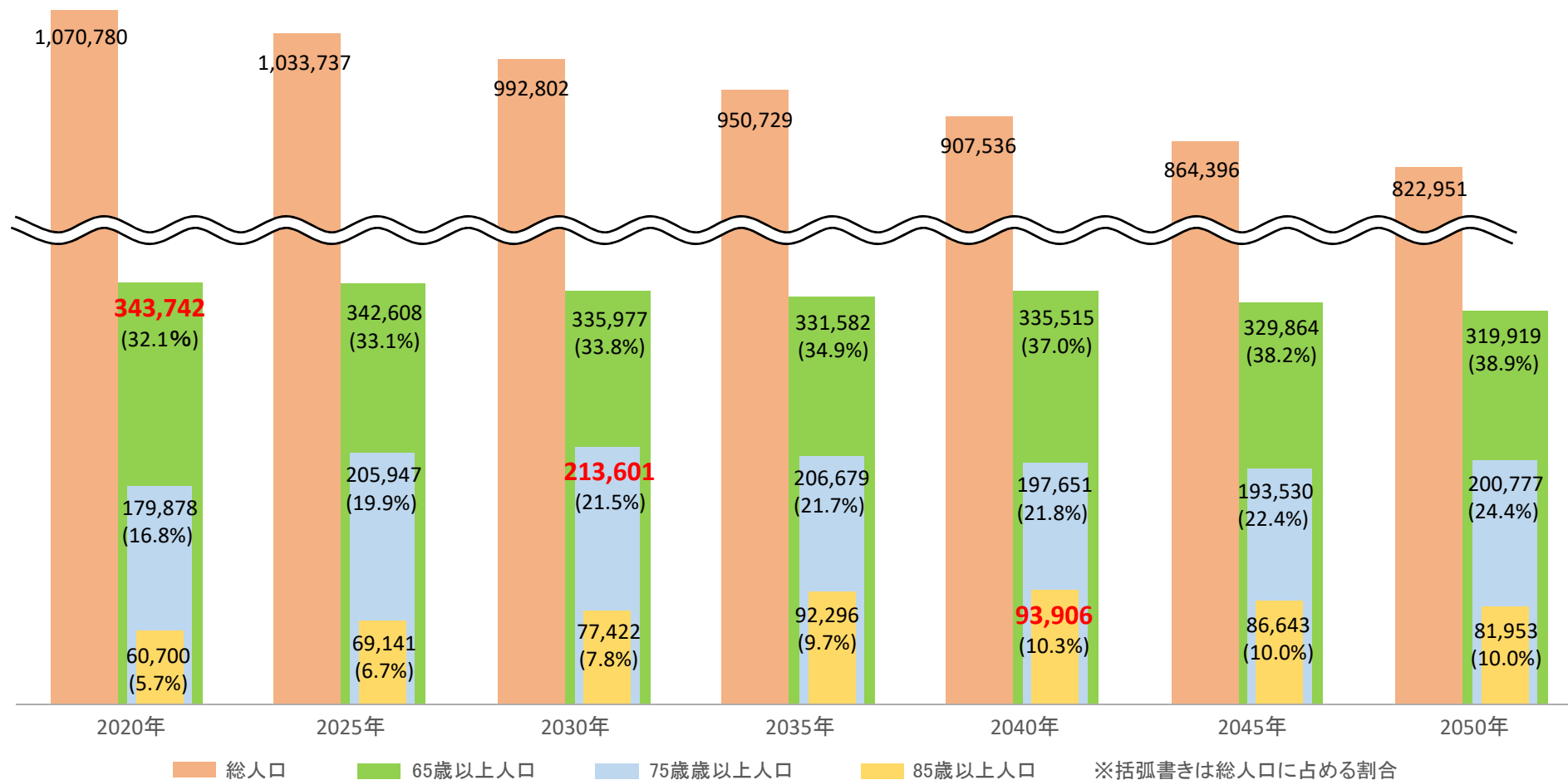
令和6年11月1日

資料3
改



1 北九州二次医療圏の状況

北九州二次医療圏 人口及び高齢者の推移



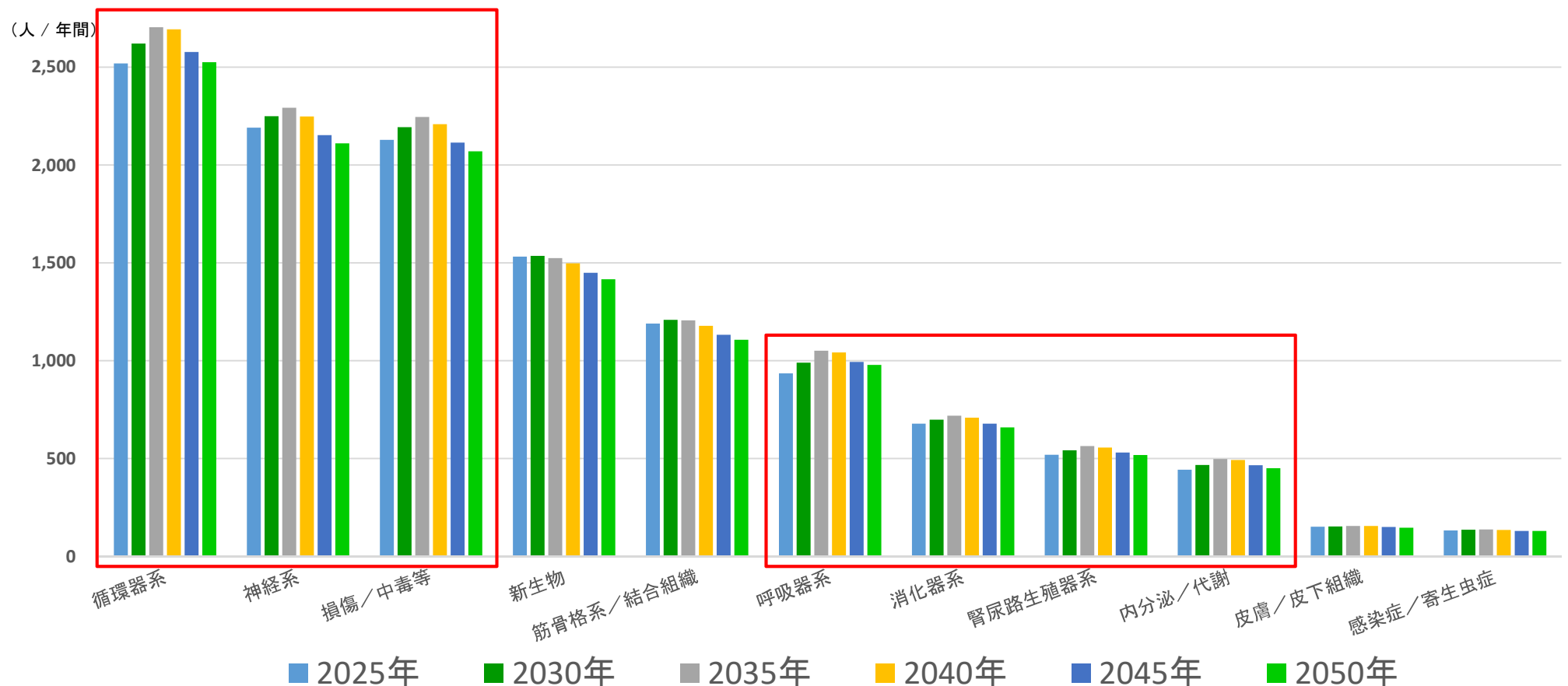
- ・ 総人口は年々減少
- ・ 高齢者（65歳以上）人口は、年々減少傾向
- ・ 後期高齢者（75歳以上）人口は、2030年をピークに減少傾向
- ・ 85歳以上人口は2040年をピークに減少傾向

【出典】 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県・市区町村別の男女・年齢（5歳）階級別将来推計人口-『日本の地域別将来推計人口』（令和5年推計）

1 北九州二次医療圏の状況

北九州二次医療圏 主な疾患分類の推計入院患者数

- ・北九州二次医療圏における推計入院患者数は、循環器系、神経系、損傷/中毒、呼吸器系、消化器系、腎尿路生殖器系、内分泌/代謝は2035年頃まで増加し、その後減少に転じると見込まれる
- ・2025年と2050年の入院患者数比較では、神経系、損傷/中毒等、新生物、筋骨格系/結合組織は減少するが、それ以外は大きく変わらないと見込まれる



【出典】 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県・市区町村別の男女・年齢（5歳）階級別将来推計人口-『日本の地域別将来推計人口』（令和5年推計）、令和2年患者調査 都道府県編 『閲覧第11表（その2）推計患者数（患者住所地）、性・年齢階級（10歳）×傷病中分類×入院-外来・都道府県別（入院）』

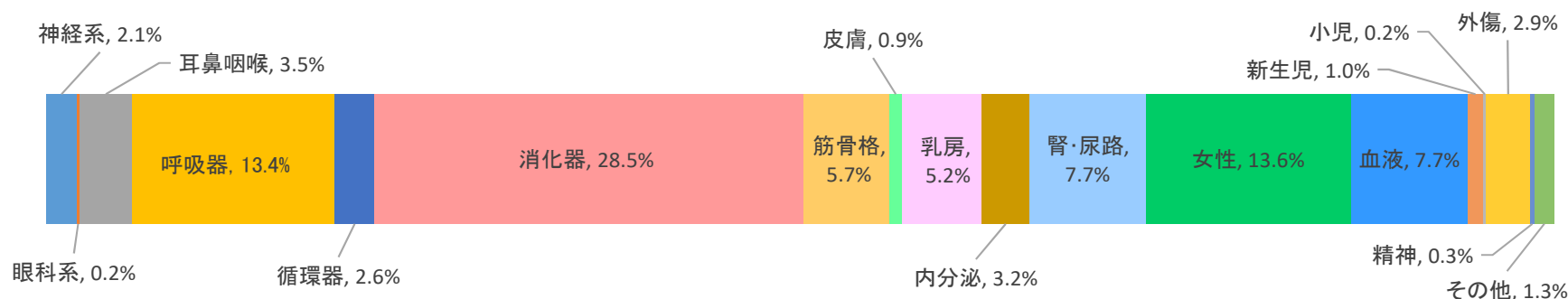
2 市立医療センターの診療機能

市立医療センターの基本情報

○診療科 41診療科

内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、心療内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、大腸外科、肛門外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、食道外科、胃腸外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科

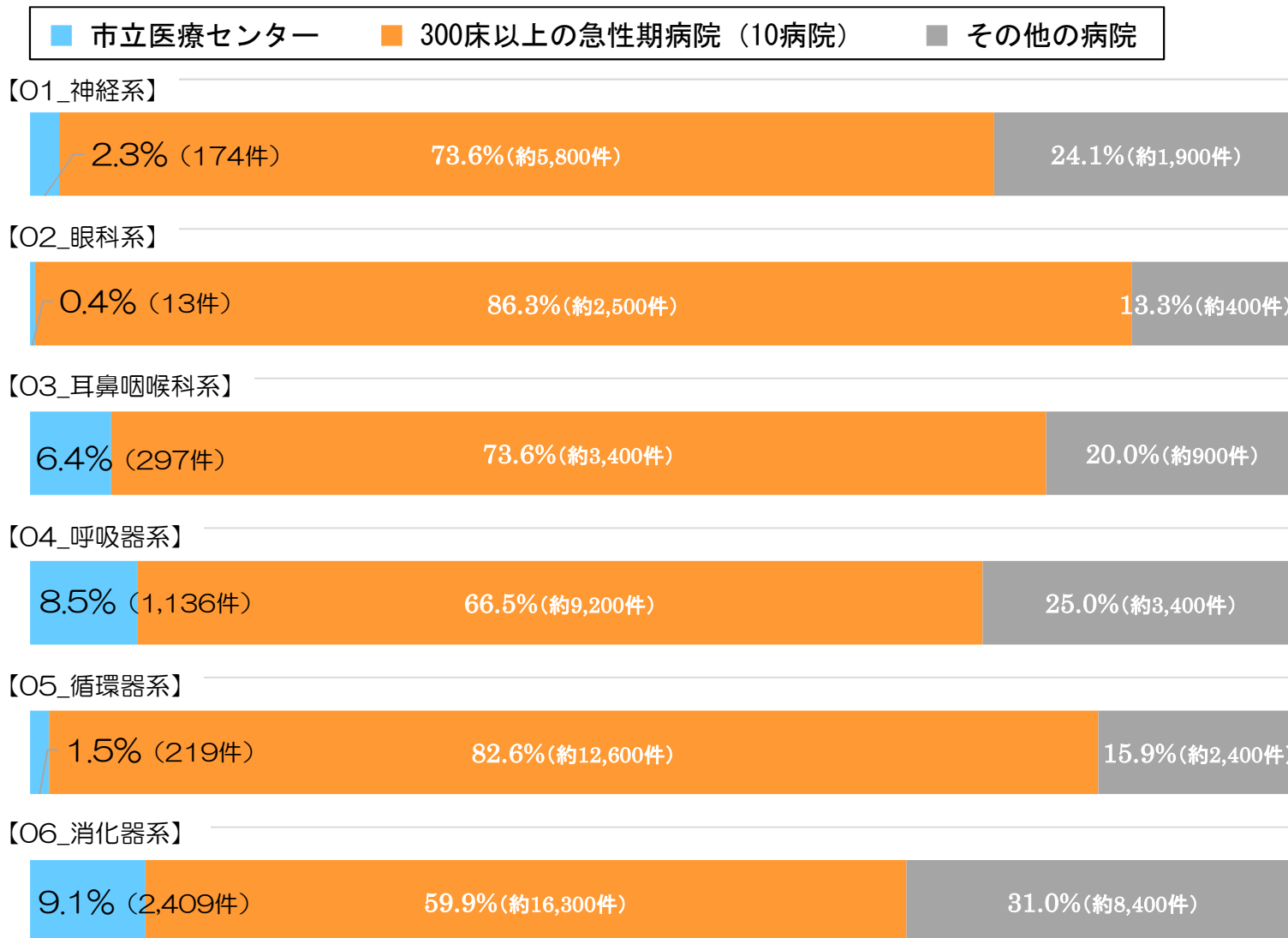
○市立医療センター 疾患別割合（R4 DPC退院患者数）



【出典】令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について（厚生労働省2024.3.22公表）参考資料2（2）MDC別医療機関別件数（割合）

2 市立医療センターの診療機能

北九州二次医療圏における疾患別シェア率（R4 DPC退院患者数）



市立医療センターの特長と 上位2疾患(R4実績)

転移性脳腫瘍へのチーム医療対応

- ・脳腫瘍 56件
- ・脳梗塞 42件

総合周産期医療における未熟児診察は必須

- ・白内障、水晶体の疾患 13件

- ・頭頸部悪性腫瘍 108件
- ・扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 30件

- ・肺の悪性腫瘍 773件
- ・肺炎等 83件

がん診療において循環器フォローは不可欠

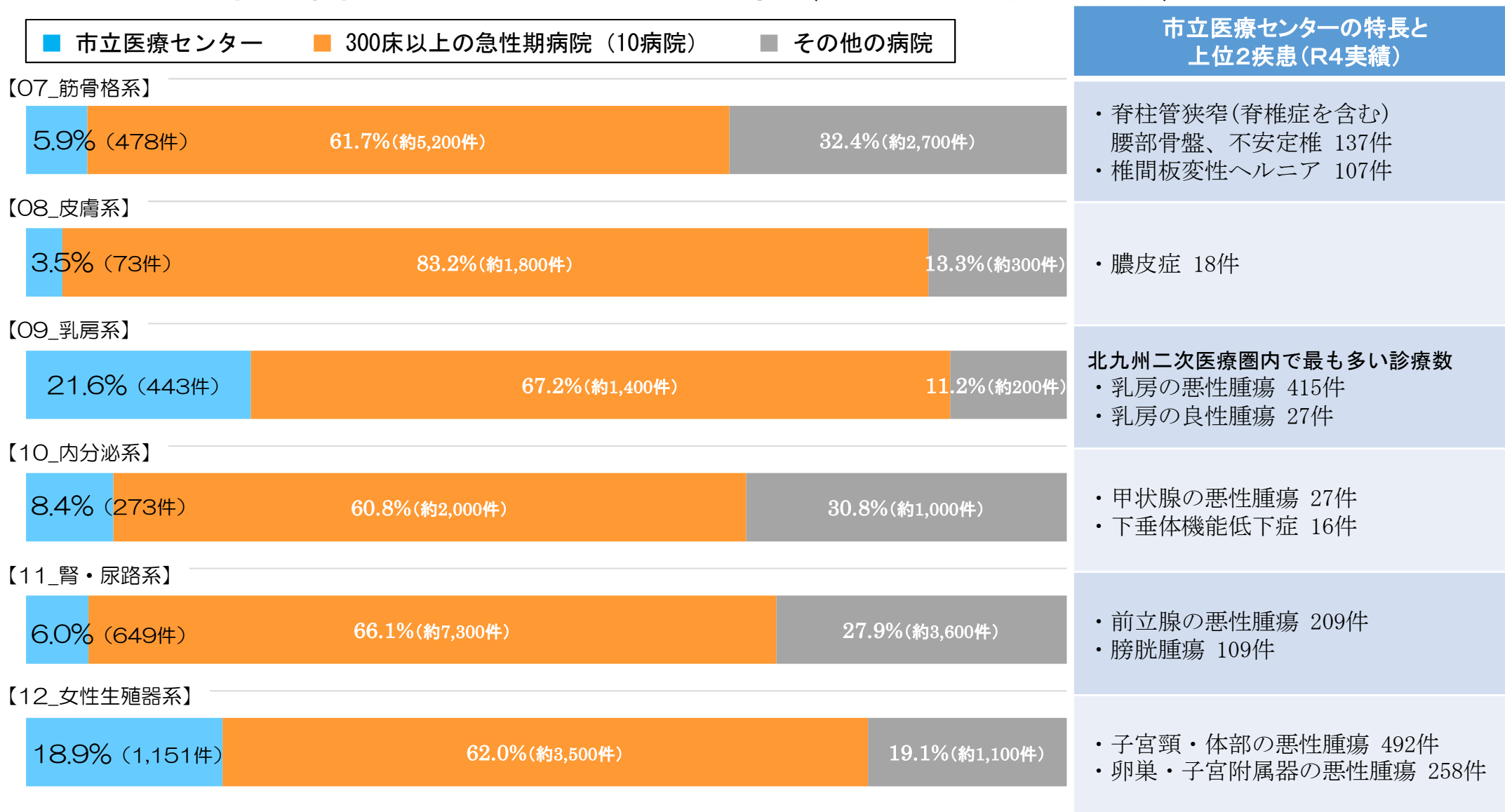
- ・狭心症、慢性虚血性心疾患 74件
- ・心不全 55件

九州内でも数施設しかできない症例を実施
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医認定修練施設AIに認定

- ・胃の悪性腫瘍 338件
- ・結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍 243件

2 市立医療センターの診療機能

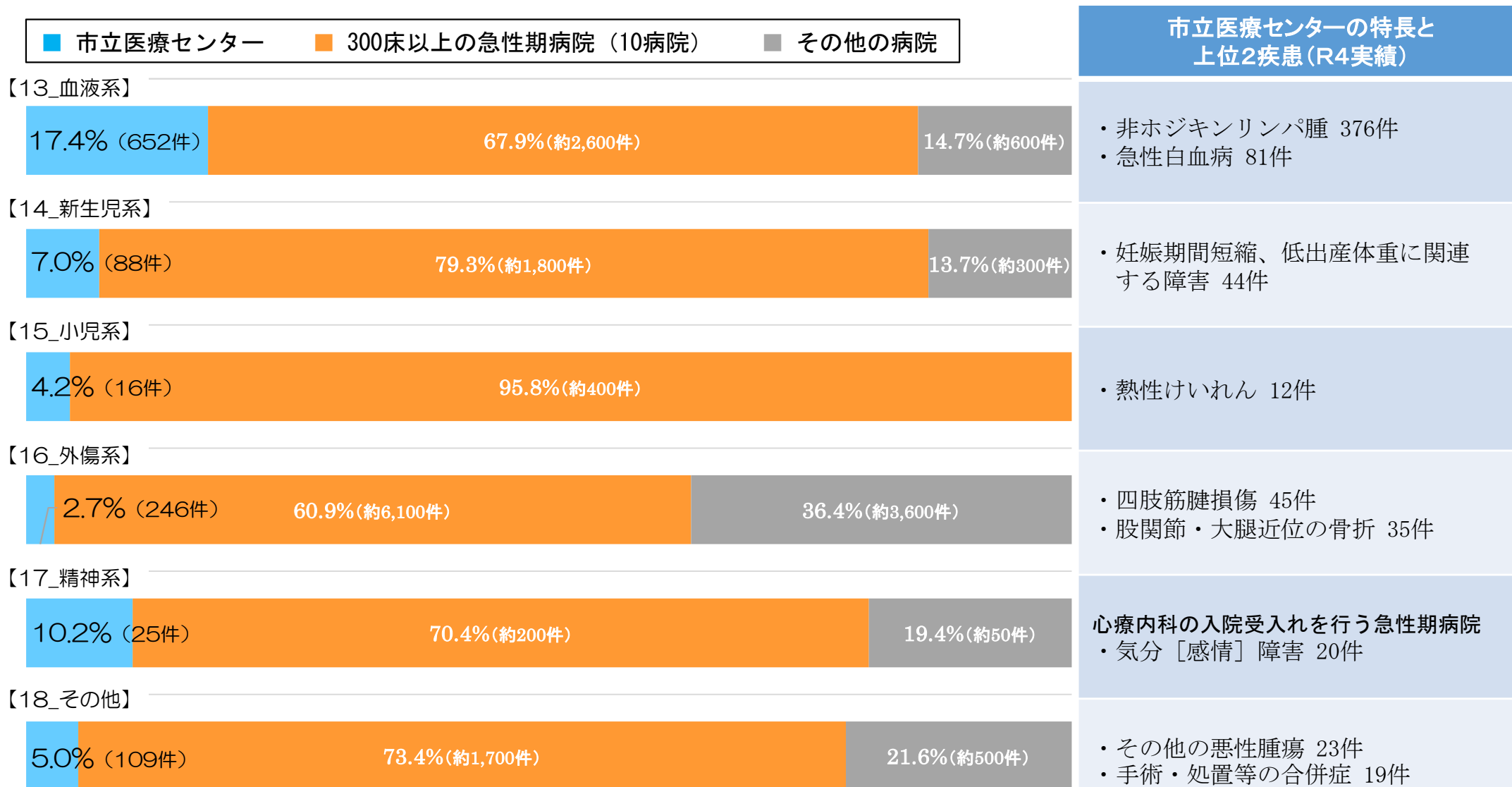
北九州二次医療圏における疾患別シェア率（R4 DPC退院患者数）



【出典】令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について（厚生労働省2024.3.22公表） 参考資料2 疾患別手術別集計_施設類型別

2 市立医療センターの診療機能

北九州二次医療圏における疾患別シェア率（R4 DPC退院患者数）

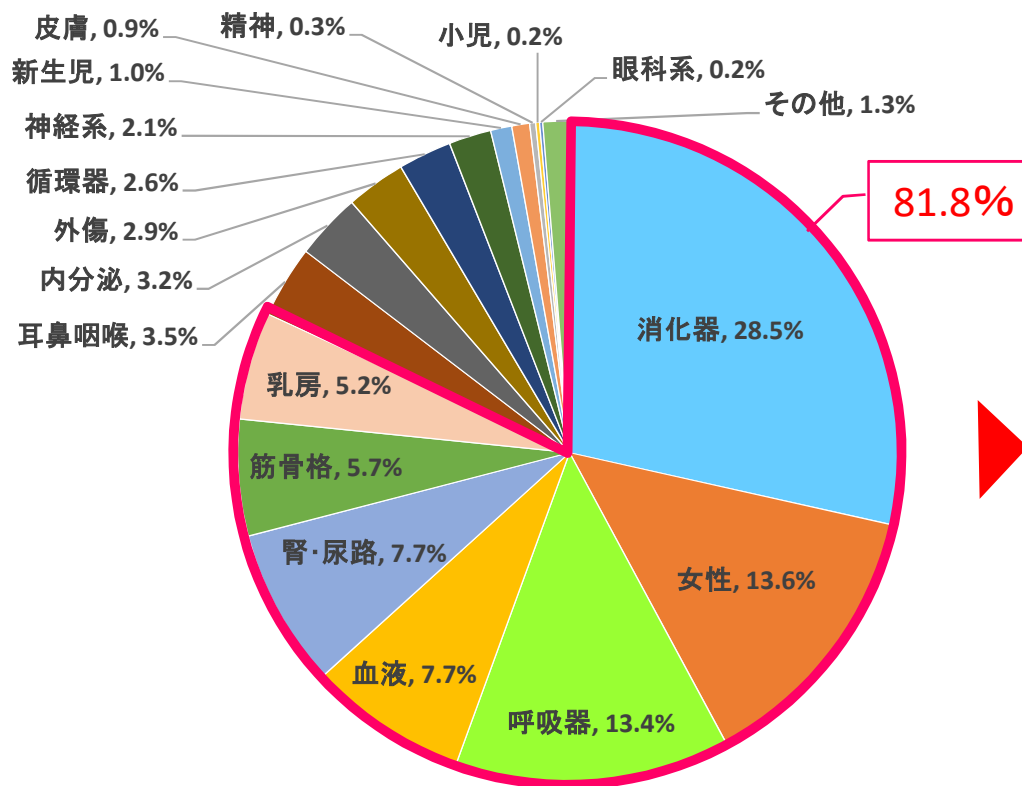


2 市立医療センターの診療機能

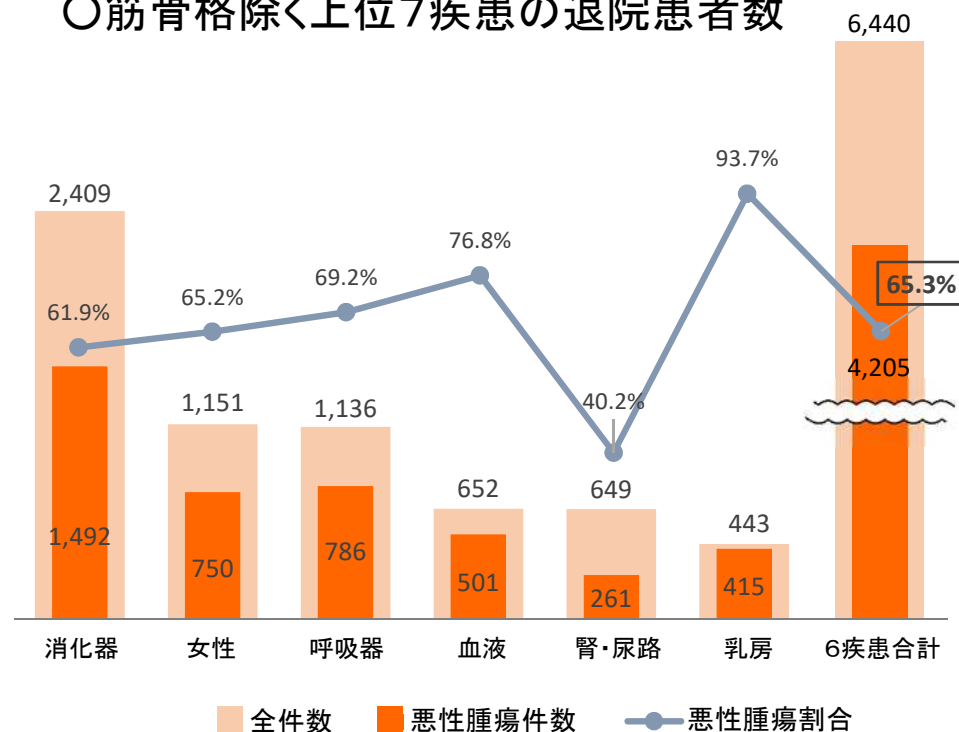
市立医療センターの診療機能

- ・疾患別患者数（退院）は、上位7疾患で全体の81.8%
- ・上位7疾患のうち、筋骨格を除く6疾患では65.3%が悪性腫瘍（がん）

○市立医療センター 疾患別割合（R4 DPC退院患者数）



○筋骨格除く上位7疾患の退院患者数



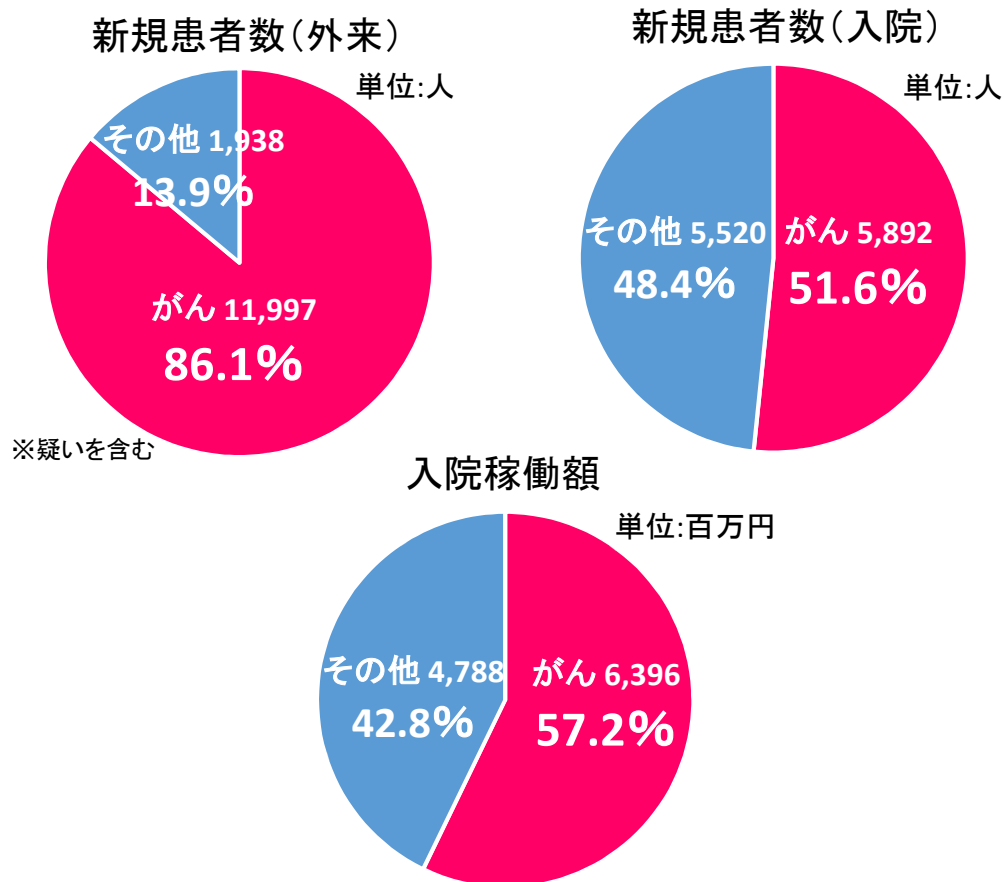
【出典】令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について（厚生労働省2024.3.22公表）参考資料2 （2）MDC別医療機関別件数（割合）

2 市立医療センターの診療機能

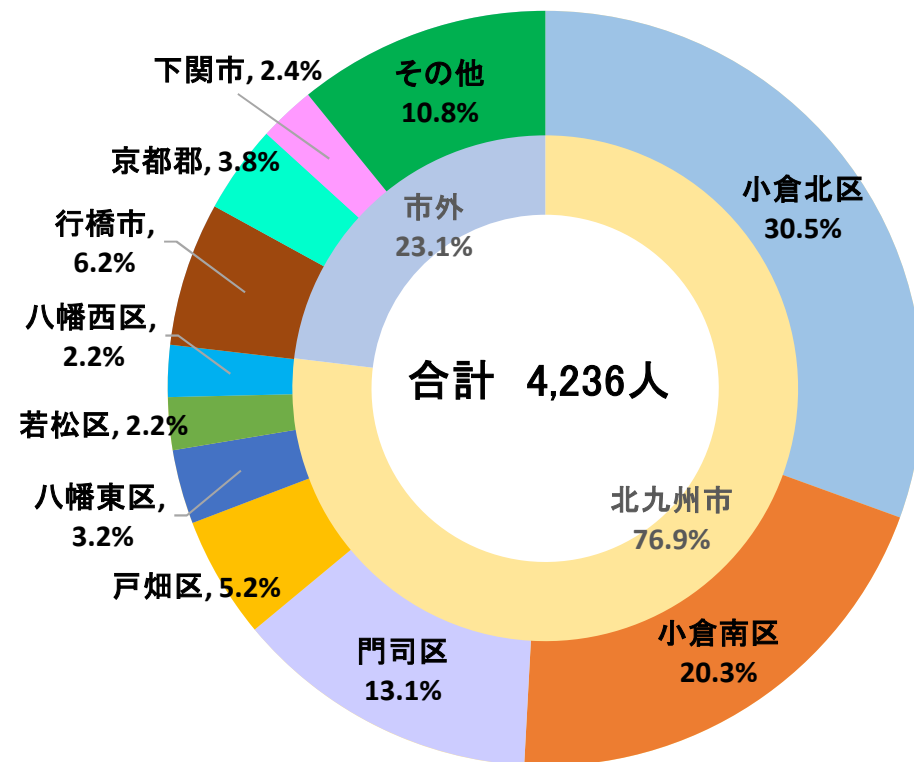
市立医療センターのがん診療

- ・がん診療の占める割合は、入院新規患者数、入院稼働額では5割超、外来新規患者数では8割超
- ・がん患者の入院実患者数では、市外在住が23.1%

○当院のがん診療の割合(R5実績)



○がん入院実患者数 住所別割合(R5実績)



2 市立医療センターの診療機能

北九州二次医療圏 がん疾患領域別患者数（R4 DPC退院患者数）

	全部位			食道がん			胃がん			大腸がん		
	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率
1	A病院	4,688	18.8%	市立医療センター	158	25.4%	市立医療センター	338	22.1%	市立医療センター	243	11.6%
2	市立医療センター	4,577	18.3%	A病院	111	17.8%	A病院	227	14.8%	A病院	208	9.9%
3	B病院	3,844	15.4%	B病院	87	14.0%	B病院	156	10.2%	B病院	207	9.9%
4	C病院	2,169	8.7%	C病院	64	10.3%	C病院	149	9.7%	C病院	200	9.5%
5	D病院	1,893	7.6%	D病院	62	10.0%	D病院	140	9.2%	D病院	165	7.9%

	直腸肛門がん			肝・肝内胆管がん			胆のう・肝外胆管がん			膵臓・脾臓がん		
	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率
1	A病院	161	15.1%	A病院	279	23.4%	市立医療センター	105	24.3%	市立医療センター	242	18.3%
2	市立医療センター	135	12.6%	市立医療センター	193	16.2%	A病院	79	18.3%	A病院	230	17.3%
3	B病院	134	12.5%	B病院	110	9.2%	B病院	42	9.7%	B病院	213	16.1%
4	C病院	117	11.0%	C病院	108	9.1%	C病院	33	7.6%	C病院	170	12.8%
5	D病院	94	8.8%	D病院	108	9.1%	D病院	29	6.7%	D病院	146	11.0%

	肺がん			前立腺がん			乳がん			卵巣・子宮がん		
	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率
1	A病院	907	21.1%	A病院	463	24.5%	市立医療センター	415	22.3%	市立医療センター	258	30.4%
2	市立医療センター	773	18.0%	B病院	293	15.5%	A病院	312	16.8%	A病院	246	29.0%
3	B病院	650	15.1%	C病院	219	11.6%	B病院	302	16.2%	B病院	145	17.1%
4	C病院	361	8.4%	D病院	215	11.4%	C病院	240	12.9%	C病院	134	15.8%
5	D病院	322	7.5%	医療センター	209	11.0%	D病院	221	11.9%	D病院	54	6.4%

【出典】令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について（厚生労働省2024.3.22公表）参考資料2（8）疾患別手術別集計

2 市立医療センターの診療機能

北九州二次医療圏 がん疾患領域別患者数（R4 DPC退院患者数）

	子宮頸・体部がん			膀胱がん			非ホジキンリンパ腫			急性白血病		
	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率
1	市立医療センター	492	32.1%	A病院	274	19.3%	市立医療センター	376	23.9%	A病院	116	27.0%
2	A病院	376	24.5%	B病院	267	18.8%	A病院	338	21.5%	B病院	113	26.3%
3	B病院	267	17.4%	C病院	187	13.2%	B病院	226	14.4%	C病院	97	22.6%
4	C病院	259	16.9%	D病院	134	9.4%	C病院	223	14.2%	市立医療センター	81	18.9%
5	D病院	100	6.5%	市立医療センター	109	7.7%	D病院	149	9.5%	八幡病院	11	2.6%

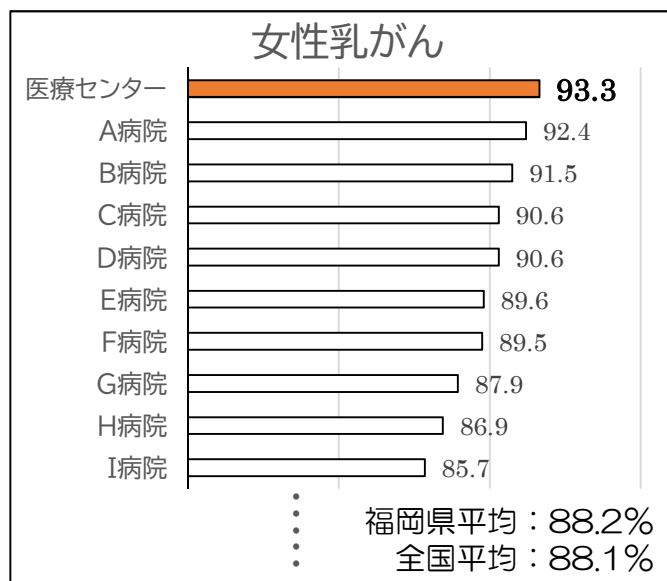
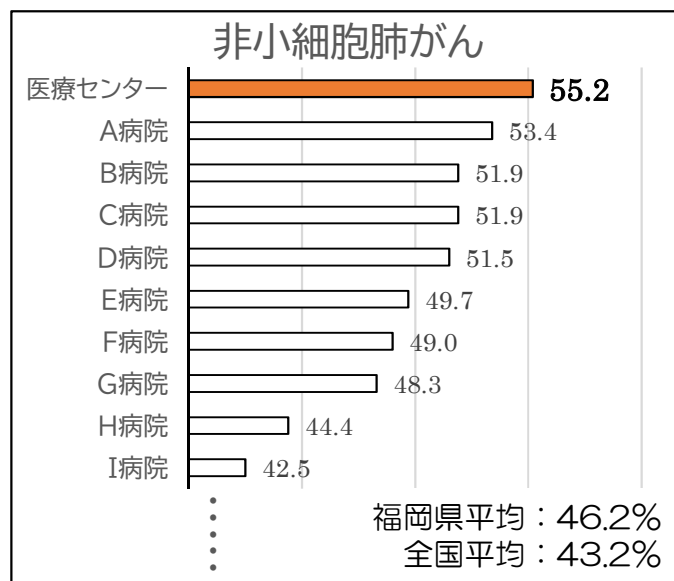
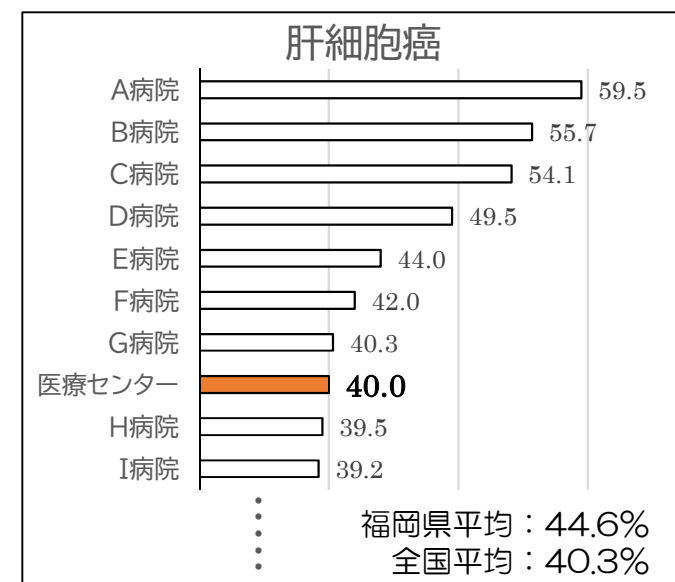
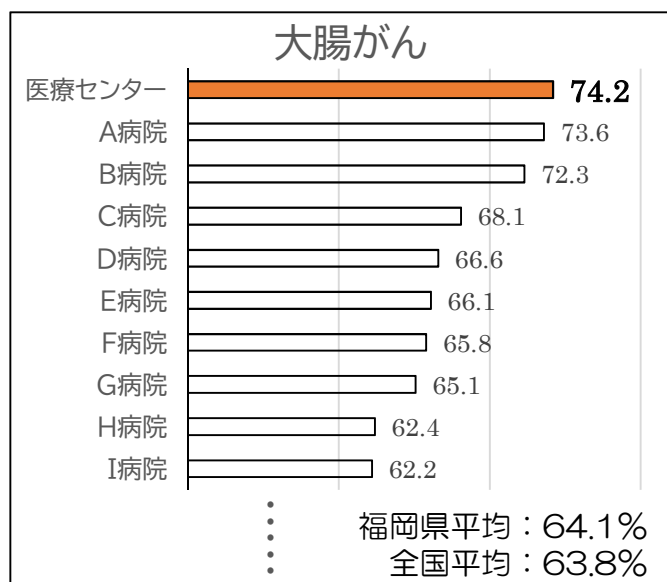
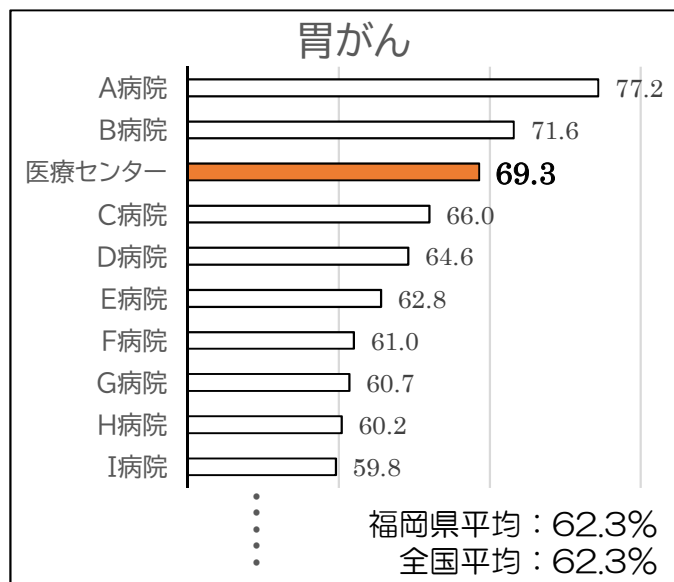
	脳腫瘍			頭頸部外悪性腫瘍			骨軟部悪性腫瘍			甲状腺がん		
	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率	病院名	退院患者数	シェア率
1	A病院	111	26.9%	A病院	327	47.9%	A病院	60	31.1%	A病院	48	45.7%
2	B病院	83	20.1%	B病院	110	16.1%	B病院	51	26.4%	市立医療センター	27	25.7%
3	市立医療センター	56	13.6%	市立医療センター	108	15.8%	C病院	38	19.7%	B病院	20	19.0%
4	C病院	41	10.0%	C病院	63	9.2%	市立医療センター	19	9.8%	C病院	10	9.5%
5	D病院	33	8.0%	D病院	62	9.1%	D病院	13	6.7%			

	その他のがん		
	病院名	退院患者数	シェア率
1	A病院	522	36.3%
2	市立医療センター	240	16.7%
3	B病院	170	11.8%
4	C病院	156	10.8%
5	D病院	105	7.3%

【出典】令和4年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について（厚生労働省2024.3.22公表）参考資料2（8）疾患別手術別集計

2 市立医療センターの診療機能

5大がん5年生存率 福岡県内がん診療連携拠点病院



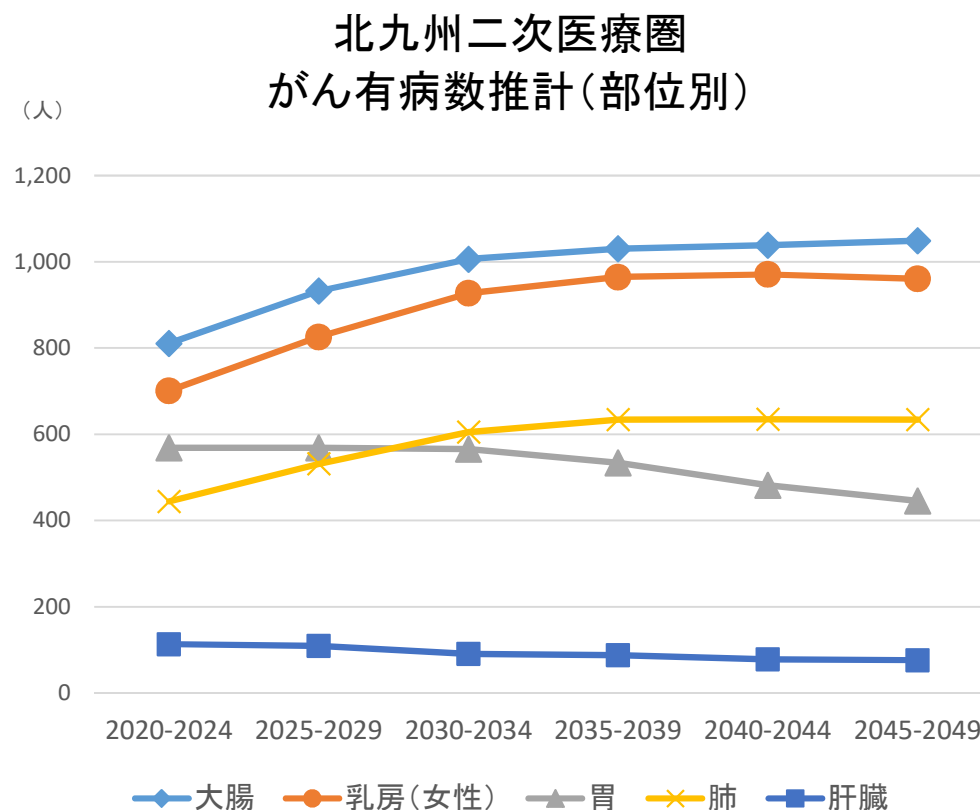
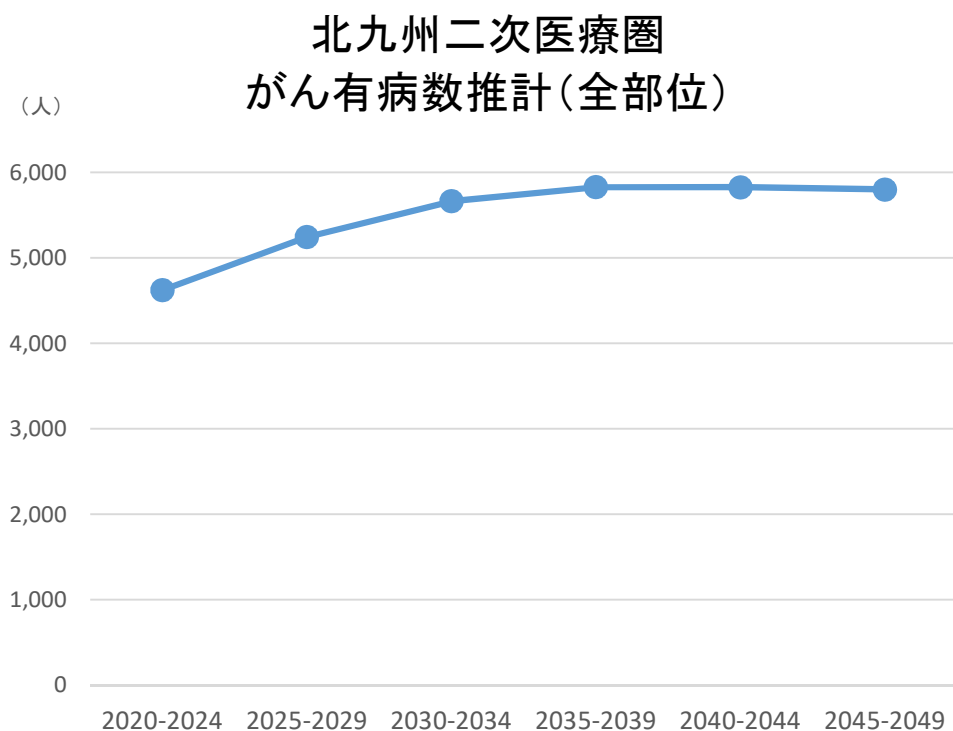
【出典】
国立研究開発法人 国立がん研究センターがん
対策研究所がん登録センター
2023年3月公表
付表3.
施設別2014-2015年 5年生存率集計（抜粋）
2023年5月31日公表

【生存率】実測生存率

2 市立医療センターの診療機能

北九州二次医療圏 がん有病数将来推計

- ・がんの有病数全体は2035～2039年の期間まで増加し、その後は横ばいになることが見込まれる
- ・部位別(5大がん)では、胃がんと肝臓がんは減少傾向だが、その他は全体と同様の傾向が見込まれる



【出典】国立社会保障・人口問題研究所 都道府県・市区町村別の男女・年齢(5歳)階級別将来推計人口-『日本の地域別将来推計人口』(令和5年推計)、
Cancer Prevalence Projections in Japan and Decomposition Analysis of Changes in Cancer Burden, 2020-2050: A Statistical Modeling Study. Cancer Epidemiol
Biomarkers Prev 2023;32:1756-70 (国立研究開発法人国立がん研究センター公式サイト『4.将来推計』より)

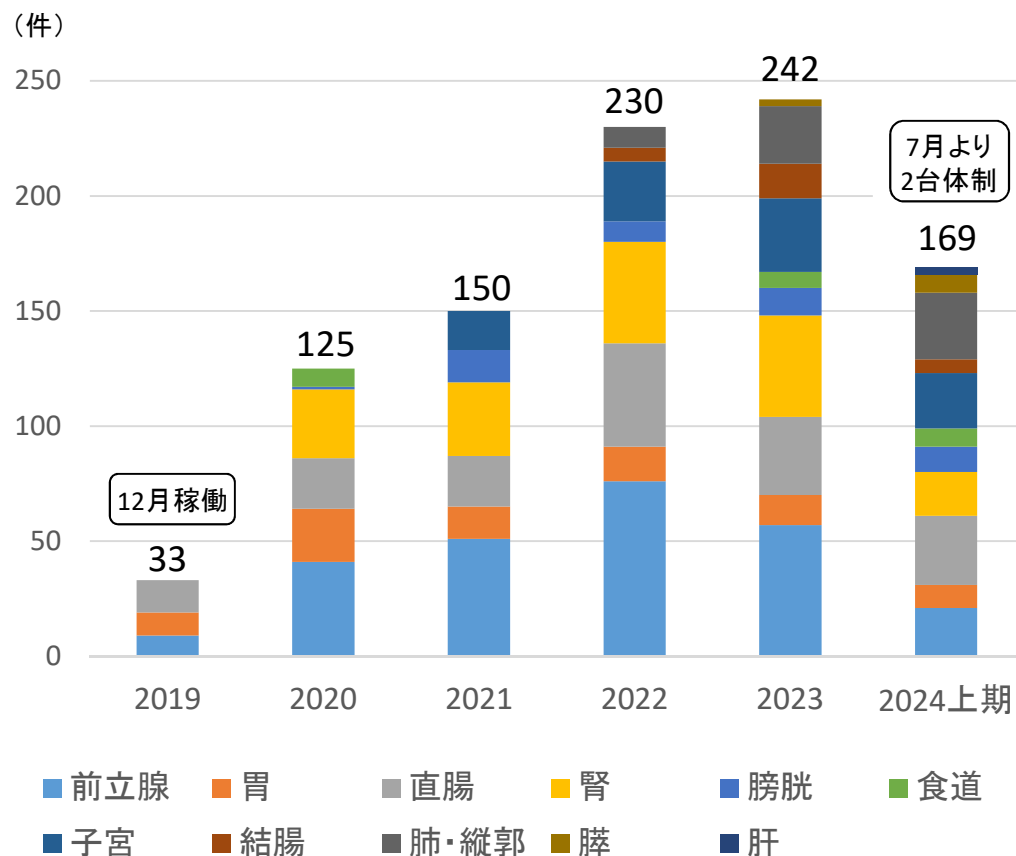
【有病数】過去5年以内にがんと診断され、推計対象年に生存している者の数(5年有病数)

2 市立医療センターの診療機能

新市立医療センターの診療機能について

- ・北九州二次医療圏内のがん有病数は今後も増加傾向にあることから、現在の強みであるがん診療を中心とした診療機能の充実を図っていく
- ・がんを中心としながらも、地域の疾病構造や医療環境を踏まえ、他病院では診療が困難な疾病に対応できる専門性の高い診療機能を維持していく

○市立医療センターのロボット支援手術実績



○(参考) 公立病院に期待される機能

【基本的な考え方】

公・民の適切な役割分担の下、地域において必要な医療提供体制の確保を図り、その中で公立病院が安定した経営の下でへき地医療・不採算医療や高度・先進医療等を提供する重要な役割を継続的に担っていくことができるようにすること。

1. 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供
2. 救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
3. 県立がんセンター、県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
4. 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

【出典】公立病院経営ガイドライン

3 政策医療の状況(周産期母子医療)

市立医療センターの診療体制

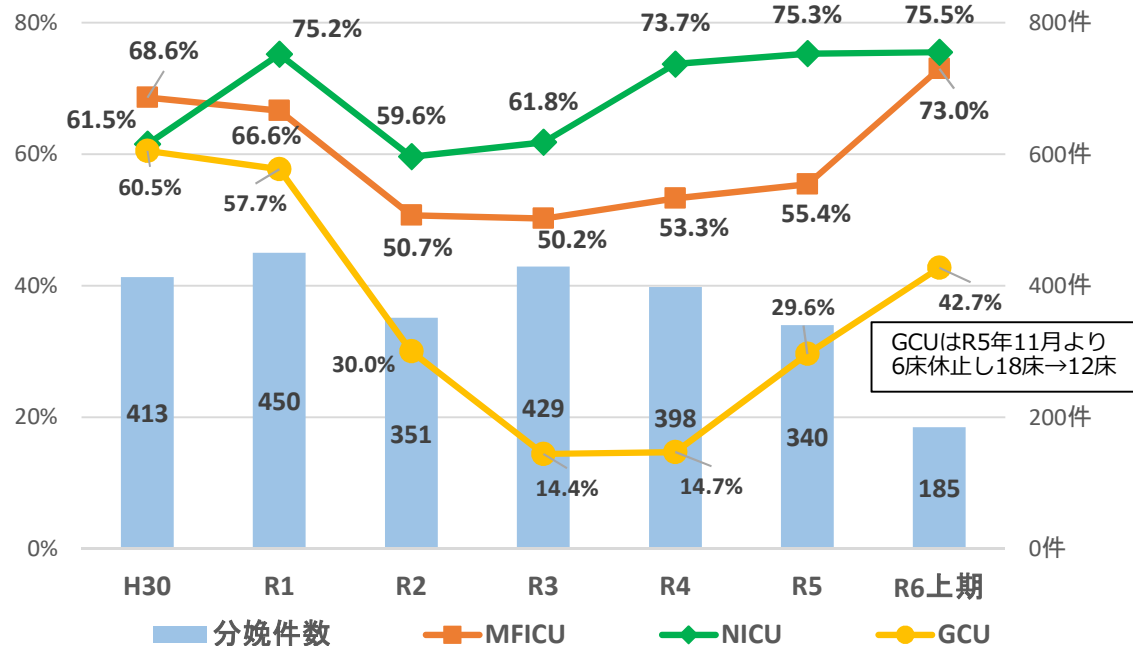
- ・市内に2ヶ所の総合周産期母子医療センターとして、MFICU,NICU,GCUを設置し必要な設備を整備
- ・麻酔科を含む41診療科を備えており、合併症等のハイリスクな症例にも対応可能
- ・12名の常勤医師、大学からの応援医師等で24時間の宿日直体制
- ・医師の働き方改革等により、継続的な医師の確保が課題

【産科】	母体・胎児集中治療室 (MFICU)	6床
	一般産婦人科病棟	25床
【新生児】	新生児集中治療室 (NICU)	9床
	新生児治療回復室 (GCU)	12床

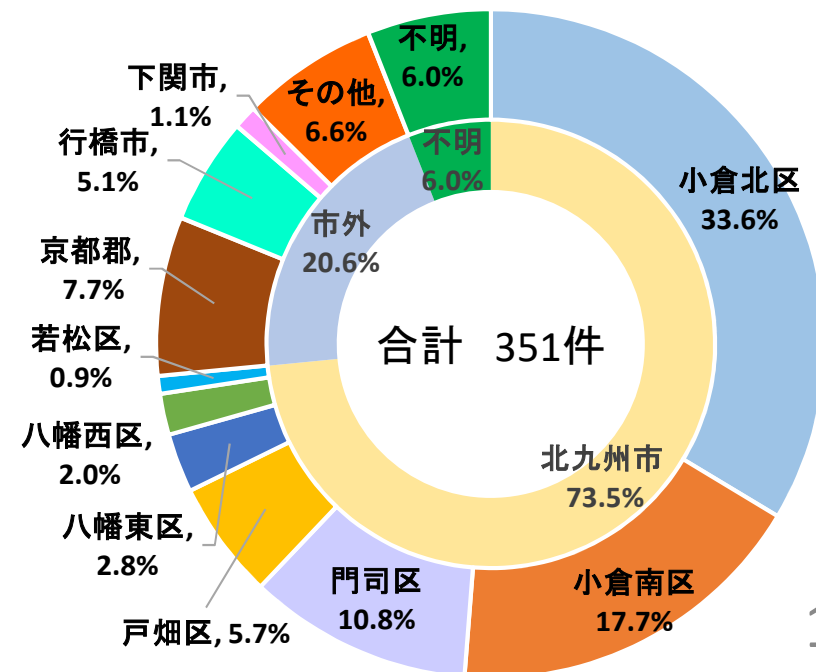
診療実績等

- ・市内全体の分娩件数が減少する中、NICUは近年7割以上の稼働率
- ・R5年度の分娩実績では、市外在住が20.6%

○病床稼働率推移



○分娩件数 住所別割合(R5実績)

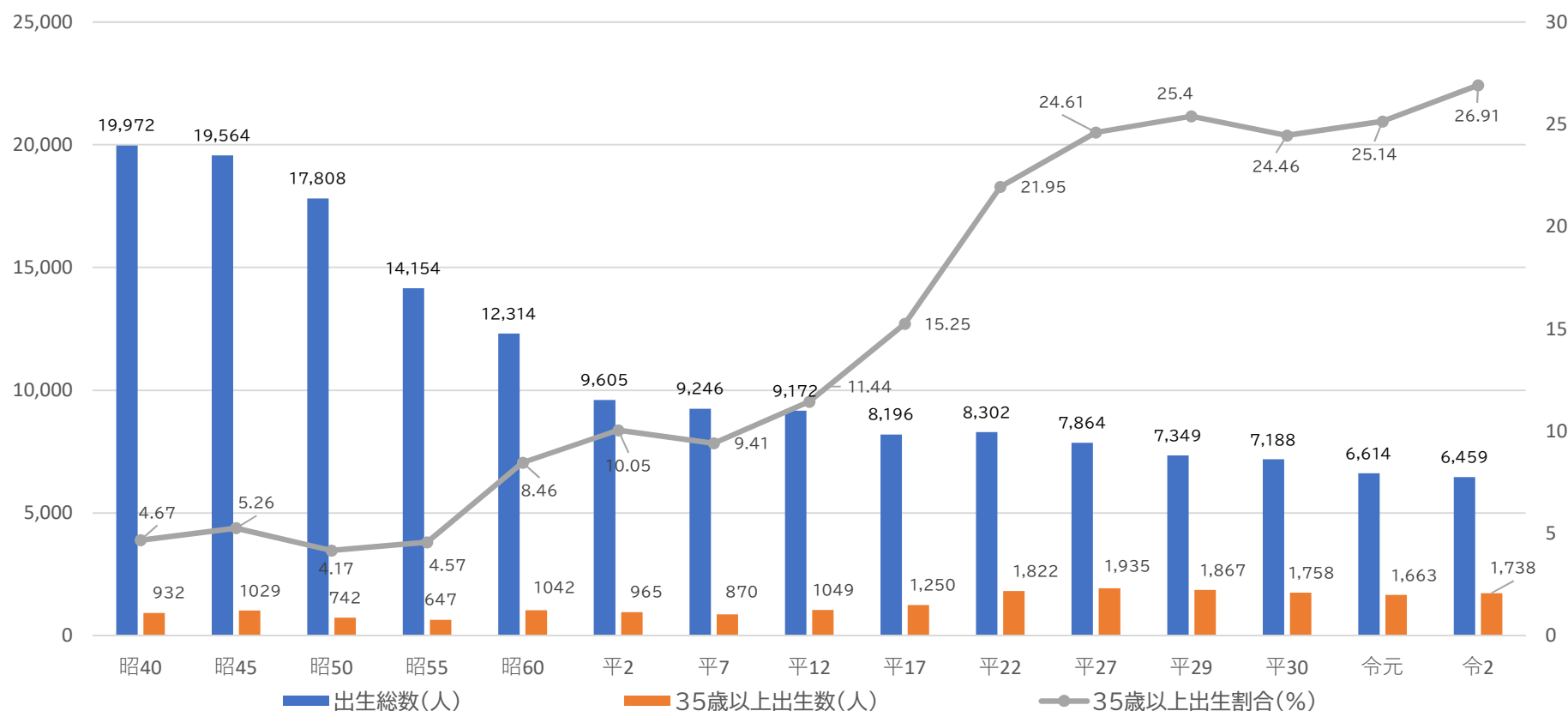


3 政策医療の状況(周産期母子医療)

ハイリスク分娩について

- ・母体年齢が高いほど妊婦高血圧腎症、前置胎盤などの合併症や帝王切開分娩の頻度が高いとされている
(「国立成育医療研究センター」H29.11.6付プレリリース抜粋)
- ・北九州市内では、出生総数が減少している反面、35歳以上の出生割合は増加傾向にある

○北九州市における35歳以上出生数の推移



【出典】北九州市の男女共同参画統計データ集2020 「図5 母の年齢階級別にみた出生数の推移(北九州市)」

3 政策医療の状況(災害拠点)

市立医療センターの取組

- ①業務継続計画（BCP）に基づいた訓練等
 - ・災害情報システムの訓練、病棟火災訓練等を実施
- ②設備面
 - ・災害時に必要な食料品等の備蓄
 - ・通常時の6割程度の発電容量のある自家発電機配置
 - ・ヘリコプター離着陸場は病院近接地に確保

③災害時の医療チームの派遣

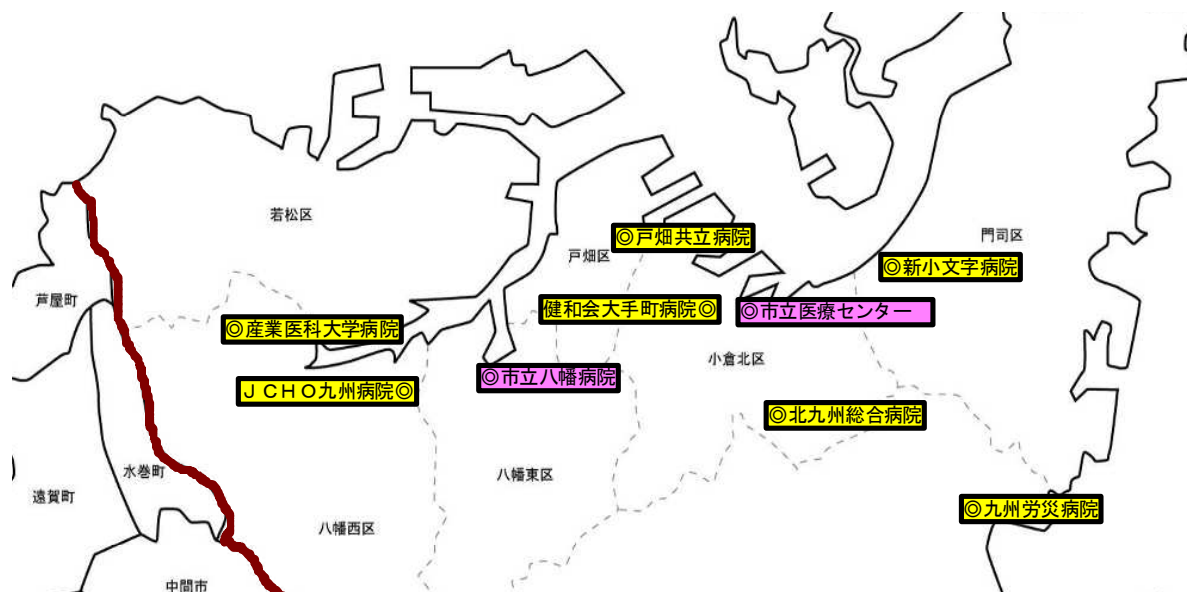
大規模災害時に専門の訓練を受けた医療チームを派遣

- ・令和2年度：熊本県豪雨災害被災地にDMAT派遣
- ・令和5年度：石川県能登半島地震被災地にJMAT派

市内の災害拠点病院

北九州市内には、市内東部に5カ所、西部に4カ所配置されている

<市内の災害拠点病院配置図>



<北九州市で発生した風水害等の災害件数>

年	件数	内 訳		
		大雨	台風	大雪
R1	7	4	3	—
R2	6	4	2	—
R3	8	5	2	1
R4	3	1	2	—
R5	3	3	—	—

【出典】北九州市消防年報

3 政策医療の状況(感染症医療)

市立医療センターの診療体制等

- ・市内唯一の感染症病床を有する第二種感染症指定医療機関として、感染対策等の基準を満たした病床を16床設置
- ・日本感染症学会専門医等を含む医師4名体制
- ・二類感染症の診療実績としては結核のみ（新型コロナ除く）

○市立医療センターの二類感染症受入実績(新型コロナ除く)

	R1	R2	R3	R4	R5
延入院患者数	4人	0人	15人	98人	20人
病床利用率	0.0%	－	0.3%	1.7%	0.3%
最大使用病床数 (稼働率)	1床 (6.2%)	－ (－%)	1床 (6.2%)	3床 (18.7%)	2床 (12.5%)

(参考)新型コロナ新規入院患者数

(R2:116人、R3:279人、R4:363人、R5:317人)

※入院患者に感染症の疑いがあり、検査した結果、結核が判明した場合等

○(参考)第二種感染症指定医療機関の主な要件

<施設・設備>

- ・病室に設置されている病床がすべて感染症病床であること
- ・病室内又は病室に隣接してトイレ及びシャワー室があること
- ・床面及び壁面は、その消毒及び清掃が容易な構造とすること
- ・使用した医療器具等を消毒し、又は滅菌できる設備を有すること

<運営体制>

- ・感染症の医療の経験を有する医師が勤務していること
- ・微生物学的検査の結果が迅速に得られること
- ・重症の救急患者に対し医療を提供する体制が常に確保されていること
- ・院内感染対策委員会が設けられていること

3 政策医療の状況(感染症医療)

市立門司病院の診療体制等

○ 市立門司病院の概要

- ・ 指定管理者制度（一部利用料金制）を導入

指定管理期間：平成31年4月1日～令和11年3月31日（10年間）

- ・ 病床数：155床

うち、結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、結核病床を55床設置

うち、回復期病床を100床（一般病床50床、療養病床50床）設置

- ・ 建築後20年以上（東棟：平成12年建築、西棟：平成14年建築）が経過

○ 市立門司病院の結核病床利用率等

	R1	R2	R3	R4	R5
延入院患者数	7,054人	6,900人	6,570人	6,258人	6,344人
病床利用率	35.0%	34.4%	32.7%	31.2%	31.5%
最大使用病床数 (稼働率)	29床 (52.7%)	27床 (49.1%)	30床 (54.5%)	24床 (43.6%)	23床 (41.8%)

○(参考)市立門司病院における回復期病床利用率等

	R1	R2	R3	R4	R5
延入院患者数	35,683人	34,669人	34,639人	34,923人	34,901人
病床利用率	97.5%	95.0%	94.9%	95.7%	95.4%

3 政策医療の状況(感染症医療)

北九州市の第二種感染症指定医療機関

○二類、新型インフルエンザ等感染症患者の入院を担当する医療機関

ブロック	医療機関名	病床数
北九州	北九州市立医療センター	16
福岡	福岡市民病院	4
	九州医療センター	2
	福岡赤十字病院	2
	福岡大学筑紫病院	2
	福岡徳洲会病院	2
	福岡東医療センター ※	10
筑後	聖マリア病院	6
	新古賀病院	8
	筑後市立病院	2
	大牟田病院	2
筑豊	田川市立病院	8

○結核病床を有する医療機関

ブロック	医療機関名	結核病床数
北九州	北九州市立門司病院	55
福岡	西福岡病院	48
	岡部病院	18
	福岡東医療センター	38
筑後		
	大牟田病院	20
筑豊	福岡ゆたか病院	20

※福岡東医療センターは第一種感染症指定医療機関
(病床数:2床)